



# 成隣だより

平成28年 2月1日  
第10号  
昭島市立成隣小学校  
校長 長野 基

## 「体育の日」から「スポーツの日」へ

副校長 眞砂野 裕

### 育てたいのは『運動好きな子ども』です！

先日、各マスコミに「体育の日がスポーツの日に変わるかも？」という記事が掲載されました。「体育」より広い意味をもつ「スポーツ」の意義を広めることがそのねらいのようです。この流れが、子供を取り巻く“運動へのイメージ”を変えるきっかけになることを望んでやみません。

体育好きな先生たちの間で、こんな話が伝わっています。

#### 「逆上がりをがんばったAくんの一言」

なかなか逆上がりのできないAくん。熱血指導を信条とするB先生の指導の下、毎日毎日、鉄棒を握りしめる汗と涙の日が続きます。そして、ついにその努力が報われる日がやってきました。逆上がりができるようになったのです。大喜びするB先生と手を取り满面笑顔のAくんが言った一言は・・・「嬉しいです！これでもう逆上がりをしなくていいんですね！！」

体育をトレーニングと勘違いしがちな教員同士の、自戒を込めたブラックユーモアです。ただ、この話から私たち教員が学ぶべきことがあるのも事実です。

体育科教育の目標は「生涯に渡って運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる」ことです。もちろん、教員は指導者として技能向上の指導方法を研修しなくてはならないし、子供たちの体力向上を担わなくてはなりません。その前提でなお、育てたいのは「運動好きな子供」なのです。

ご家庭ではいかがでしょう？親子で運動（スポーツ）に親しむ機会はどれくらいありますか？運動（スポーツ）と言っても、準備運動の必要なハードな内容でなくて全く構わないと思うのです。家庭内でもできる、親子ならではのスキンシップゲームで十分です。例えば、こんなゲームはどうでしょう？

#### ひっこめきジャンケン

- ①親子で向かい合い、握手をするようにお互いの右手を差し出す。※手は握らない
- ②左手でジャンケン。
- ③勝ちく相手の右手をつかむ>  
負けくつかまれないように  
手を引き抜く>



※運動神経系の遊びです

#### たたみ返し

- ①親は両手両足を広げうつぶせに寝る。＝畳役
- ②子供は親を（仰向けになるように）ひっくり返そうとする。
- ③10秒間の勝負！
- ④役割を交代して2回戦！  
（ひっくり返せたら勝ち）



※力試し系の遊びです

スポーツ（sports）の語源は、「気晴らし」「楽しみ」「遊び」にあると言われます。運動文化に根ざした競技スポーツで勝敗を競ったり、技能・体力向上をねらったりすることだけがスポーツではありません。そうした競技スポーツは、発育・発達段階に合わせて後から選択することもできます。むしろ「生涯スポーツ」への橋渡しとして、「体を動かすのって楽しい！」という体験や実感こそ、この時期に大切にしてほしいのです。学校や家庭で、この時期にしか味わえない運動（スポーツ）の楽しさを味わわせてあげましょう。

～2020年東京オリンピック・パラリンピック～育てたいのは『運動好きな子ども』です！